

福 議 委 号  
平成 2 8 年 1 1 月 1 4 日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

経済福祉常任委員会  
委員長 熊 野 茂 夫

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、福島町議会定例会 9 月会議（平成 2 8 年 9 月 1 5 日）において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第 1 4 7 条の規定により、下記のとおり報告する。

記

|         |                                                                                                                                                                                   |                                                                                           |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調 査 事 件 | 4 所管関係施設・事業等の町内視察について<br>5 福島町高齢者等冬の生活支援事業について                                                                                                                                    |                                                                                           |
| 調 査 期 間 | 平成 28 年 10 月 26・27 日                                                                                                                                                              | 平成 28 年 10 月 27 日（事件No.5）                                                                 |
| 出 席 委 員 | 委 員 長 熊 野 茂 夫<br>副委員長 花 田 志 勇<br>委 員 杉 村 志 朗<br>委 員 平 沼 昌 平<br>委 員 平 野 隆 雄<br>委 員 溝 部 幸 基                                                                                         | 委 員 長 熊 野 茂 夫<br>副委員長 花 田 志 勇<br>委 員 杉 村 志 朗<br>委 員 平 沼 昌 平<br>委 員 平 野 隆 雄<br>委 員 溝 部 幸 基 |
| 欠 席 委 員 | な し                                                                                                                                                                               | な し                                                                                       |
| 委員外議員   | な し                                                                                                                                                                               | な し                                                                                       |
| 出席説明員   | 副 町 長 高 木 壽<br>福 祉 課 長 石 岡 大 志<br>町 民 課 長 小 鹿 浩 二<br>産 業 課 長 阿 部 憲 一<br>産業課参事（水産） 川 合 力 哉<br>産業課参事（商工観光） 花 田 雅 昭<br>産業課参事（水産） 寺 谷 志 保<br>建 設 課 長 木 村 文 年<br>認定こども園福島保育所園長 金 澤 峰 子 | 副 町 長 高 木 壽<br>町 民 課 長 小 鹿 浩 二                                                            |
| 議会事務局職員 | 事務局長 谷 藤 悟<br>次 長 鍋 谷 行<br>議事係長 澤 田 元 気                                                                                                                                           | 事務局長 谷 藤 悟<br>次 長 鍋 谷 行<br>議事係長 澤 田 元 気                                                   |

## **[委員会意見]**

### **調査事件 4 所管関係施設・事業等の町内視察について**

(平成 28 年 10 月 26 日・27 日調査)

本委員会が所管する関係施設・事業等の課題や問題点を把握するための町内視察を実施した。10月26日午前中に、林業専用道三枚橋開設事業、子育てサロン整備事業、新緑公園整備事業、観音橋3号橋整備事業、町道吉野館崎線整備事業、新平和橋架替事業、新たな陸上養殖技術の開発による「蝦夷アワビ」ブランド化事業、アワビ中間育成センター、午後から福島吉岡漁業協同組合事務所、館古住宅解体事業を視察調査し、その後検討会を行い、27日に執行方針の取り組み状況を調査したものであり、その調査結果を次のとおり報告する。

### **【論点とした調査項目及び意見】**

#### **1. 所管関係施設・事業等の町内視察**

##### **(1) 産業課（農林）**

###### **① 林業専用道三枚橋開設事業について**

本事業については、発注が9月29日であり、1ヶ月を経過しているが、現場で着工が確認されなかった。

請負業者が町の委託した台風被害による倒木処理に時間を要したとのことであり、補助金の確定時期の関係もあったと思うが、早めの発注をするべきであったと考える。また、林道整備箇所は、間伐の施業計画とのことであるが、質疑の内容では利用区域の現状把握が十分されているとは思われず、林道計画の必要性について再考が必要であると考ええる。

昨年の視察でも指摘したが、提出された資料（特に図面）については、誰が見ても場所や事業箇所等がわかるように調整願いたい。

##### **(2) 産業課（水産）**

###### **① 新たな陸上養殖技術の開発による「蝦夷アワビ」ブランド化事業について**

多段式水槽による陸上養殖技術の確立に向けて北海道大学水産学部及び東京農業大学と連携を強化し努力されたい。

多段式水槽については、改良を重ねて最善のものとするとのことであるが、完成形の多段式水槽の所有権の帰属を早急に協議されたい。

###### **② アワビ中間育成センターについて**

アワビ中間育成施設において養殖している「ナマコ」については、3年間

の種苗購入を経て本年度から自前で採苗しているとのことであるが、ナマコ放流事業は、財政再建計画による潜水沖どりによるナマコ資源の枯渇を補てんする重要な事業であるので採苗技術の確立に努力されたい。

### ③ 福島吉岡漁業協同事務所の視察について

特になし

## (3) 町民課

### ① 子育てサロン整備事業について

子育てサロン整備事業についても、発注が8月24日であり2ヶ月経過した工事の進捗状況が基礎から延びる腰壁部分のコンクリート養生の状態であった。

子育てサロンに通う利用者が一日も早い完成を望んでいることから、林道用専用道と同様に補助金の関係もあると思うが早めの発注をすべきであったと考える。

## (4) 建設課

### ① 新緑公園整備事業について

新緑公園トイレ建替工事についても、当町の一大イベントである南北海道駅伝競走大会に間に合うように発注すべきであったと考える。

### ② 観音橋3号橋整備事業について

特になし

### ③ 町道吉野館崎線整備事業について

特になし

### ④ 新平和橋架替事業について

特になし

### ⑤ 新平和橋架替事業について

特になし

### ⑥ 館古住宅解体事業について

特になし

## 全般意見

工事関係については、標準に基づき十分な工期を設定して発注しているとの説明であるが、視察した工事全般で順調に進捗していないように見受けられ、工期延長の懸念も推察される。論点として指摘しているが、工事発注は早めに行うことを検討願いたい。

## 2. 執行方針の取り組み状況について

### (1) 産業再生による雇用の創出

#### ① 福島町がんばる地元企業応援条例について

7月19日開催の経済福祉常任委員会の意見を受けての条例修正となっており、概ね了承するが、リース契約の対象基準等が1件当たり1千万円以上となっており、補助率が2分の1の補助金限度額300万円であるので対象基準額を600万円以上とするか、リース契約の実態から少額リースの傾向も多くあることから、基準額をできるだけ下げる検討を願いたい。

また、7月19日開催の本委員会の意見書では、「リース契約による取得も対象とする可能性について検討願いたい。」としたが、所有権の関係から検討願いたいとしたものであり、最終的な所有権について具体的な検討がされていないとのことであるので、明確に説明できるよう再検討願いたい。

#### ② アワビ陸上養殖について

町内視察の意見と同じ。

#### ③ トラウトサーモンについて

特になし

#### ④ 浜の振興計画について

特になし

#### ⑤ 福島版営農モデルについて

6月開催の本委員会の意見を受けての福島版営農モデルの検討を行っていると思うが早めの提示をお願いする。

#### ⑥ 公共的団体の総合調整について

特になし

#### ⑦ プレミアム商品券について

資料の作成は、正確を期していただきたい。

#### ⑧ 案内看板の整備について

特になし

### (2) 若者の定住対策・子育て環境の充実

#### ① 子育て支援センターについて

特になし

## ② 定住促進住宅整備プランについて

定住促進住宅の建設にあたっては、町有地の有効利用を図る上からも町有地の全体像を示して真っ白な状態での検討を願いたい。

## (3) がん予防の対策の充実

### ① 各種がん検診率について

事業所従業員の町外からの通勤者は、検診助成対象外とのことであるが、まちづくり基本条例第2条に規定する町民は、通勤する者も町民としており検診助成の対象とする検討を願いたい。

また、集団検診ばかりでなく、個別検診の比率を上げ、本人の都合によりいつでも受診ができる機会を多くする検討を願いたい。

## (4) 高齢者等の安心安全な生活環境の充実

### ① 特別養護老人ホーム整備の支援について

特になし

### ② 温泉健康保養センターの方向性について

特になし

### ③ 小型家電リサイクルについて

平成29年度からすべての品目において回収が可能とのことであるが、町民への周知徹底を図られたい。

### ④ 空家対策について

特になし

### ⑤ 防犯灯のLED化について

特になし

## **[委員会意見]**

### **調査事件 5 福島町高齢者等冬の生活支援事業について**

**(平成 28 年 10 月 27 日調査)**

本調査は、町がこれまで低所得者の高齢者世帯等に対し、冬季採暖に必要な灯油の一部を助成する「福祉灯油助成事業実施要綱」により、冬の生活支援を行ってきたが、平成 28 年 12 月より制度改正を行い「福島町高齢者等冬の生活支援事業実施要綱」を施行し、灯油以外の熱源（電気・ガス・薪・石炭等）も対象とした経済的支援を行おうとしていることから、町が新たに制定しようとする要綱の内容を確認、調査したものであり、その調査結果を次のとおり報告する。

### **【論点とした調査項目及び意見】**

#### **1. 新たな助成制度について**

灯油価格の上昇を一定の基準として支給する従来の支援制度を抜本的に見直し、町が新たに制定しようとする高齢者等に対する冬期間の生活支援のための要綱「福島町高齢者等冬の生活支援事業実施要綱」については、概ね了承する。

従来の現物支給から現金支給となることから冬期間の生活支援のための制度であることを受給者に十分説明し、制度の周知徹底を図られたい。